

報道関係者 各位

令和6年2月6日

令和6年度広島支部の健康保険料率は **9.95%** に決定

～ 令和5年度より0.03pt引上げ～

- ◆ 今般、広島県民の4割弱が加入する協会けんぽ広島支部の令和6年度の健康保険料率が **9.95%** に決定いたしました。令和5年度の9.92%から0.03pt引上げとなったものの、引き続き平均保険料率(10%)以下を維持しています。また、全国一律の介護保険料率(40歳～64歳の方(介護保険第2号被保険者)が対象)は **1.60%** に決定し、令和5年度の1.82%から0.22pt引下げとなります。
- ◆ 広島支部においては、保険料率の上昇を抑制できるように、引き続き、加入者の皆様の健康度向上や医療費適正化に向けた取組みを強化してまいります。

健康保険料率

令和6年2月分(3月納付分)まで
給与・賞与の **9.92%**

令和6年3月分(4月納付分) から

9.95%

◆ 都道府県支部ごとに健康保険料率が異なるのは、地域の医療費水準に基づいて算出されるためです。

◆ 今回、広島支部の健康保険料率が引上げとなった主な要因は、**広島支部の1人当たり医療費の伸びが全国平均の伸びを上回ったため**です。

◆ 協会けんぽの全国平均の健康保険料率は、中長期的な観点での設定により10.00%に据え置きとなっております。

介護保険料率

令和6年2月分(3月納付分)まで
給与・賞与の **1.82%**

令和6年3月分(4月納付分) から

1.60%

◆ 40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

◆ 変更後の保険料率の適用時期は健康保険料、介護保険料ともに令和6年3月分(令和6年4月納付分)からとなります。

◆ 賞与については、3月1日以降の支給分から適用されます。

保険料納付額への影響 例) 標準報酬月額が30万円の場合(1か月あたりの増減額)

健康保険料 300,000円 × 0.03% = 90円 ▲ (労使折半で45円の負担増)
介護保険料 300,000円 × 0.22% = 660円 ▼ (労使折半で330円の負担減)

【参考】中国5県の健康保険料率の比較

支部名	鳥取	島根	岡山	広島	山口
健康保険料率(%)	9.68	9.92	10.02	9.95	10.20
対前年度(pt)	0.14 ▼	0.34 ▼	0.05 ▼	0.03 ▲	0.24 ▲

協会けんぽの財政状況について

収入面では、被保険者数の伸びが鈍化していることや、不安定な海外情勢や物価高の影響等で経済の先行きが不透明であるため、これまでのような保険料収入の増加が今後も続くことは期待し難い状況です。一方、支出面では、加入者1人当たり医療給付費が大きく伸びていることや、医療費の伸びが賃金の伸びを上回るという赤字構造であること、後期高齢者支援金の増加が今後も見込まれること等を踏まえると、楽観を許さない状況です。

【協会けんぽについて】

中小企業等(約262万社)で働く従業員やそのご家族(約3,958万人)が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・ 加入事業所数(広島支部) : 59,300 事業所 (令和5年9月時点)
- ・ 加入者数 (同上) : 1,043,467 人 (令和5年9月時点)

< 本件に関するお問合せ >

全国健康保険協会広島支部
企画総務グループ
担当: 尾田・柏矢
Tel 082-568-1014

①広島支部の健康保険料率の推移

(参考資料)



②中国5県の健康保険料率の比較

(単位:%) (単位:pt)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	対前年度
広島支部	10.04	10.04	10.00	10.00	10.01	10.04	10.09	9.92	9.95	0.03 ↑
岡山支部	10.10	10.15	10.15	10.22	10.17	10.18	10.25	10.07	10.02	0.05 ↓
山口支部	10.13	10.11	10.18	10.21	10.20	10.22	10.15	9.96	10.20	0.24 ↑
島根支部	10.09	10.10	10.13	10.13	10.15	10.03	10.35	10.26	9.92	0.34 ↓
鳥取支部	9.96	9.99	9.96	10.00	9.99	9.97	9.94	9.82	9.68	0.14 ↓

③医療費の全国比較

少子高齢化の進行や医療技術の高度化等、医療費は年々増加傾向にあります。1人当たり医療費を全国と比較すると、令和4年度の広島支部の1人当たり医療費は全国より低いものの前年からの伸びが全国平均を上回ったことが健康保険料率の引上げに繋がりました。

